

平成 28 年度	上下水道経営部の取り組み実績
	<部の構成> 上下水道経営室（総務担当・経営財務担当・営業料金担当）、給排水管理課

## 1. 重点施策・事業

### (1) 水道料金制度のあり方の検討

重点施策・事業における目標	<p>節水機器の普及や人口減少による有収水量の減少（平成 27 年度見込み対前年度▲487 千<math>m^3</math>，増減率▲1.1%）が続いていることに加え、地下水採取の規制緩和に伴う大口需要者の地下水採取への切り替えにより、一層の給水収益の低下が見込まれます。</p> <p>水道施設の更新・改良・耐震化などに取り組みながら、将来にわたり安定経営が維持できるよう、水道料金制度のあり方を検討します。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>他市の料金体系や地下水採取への対応状況等の調査を実施するとともに、枚方市上下水道事業経営審議会へ水道料金制度のあり方について諮問します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：209 千円</p>
平成 28 年度の実績	<p>水道料金制度のあり方について、8 月に他市視察を行い、他市の料金体系や地下水採取への対応状況等を調査するとともに、平成 28 年 4 月に設置した上下水道事業経営審議会へ諮問し、3 回の審議会を開催しました。その中で将来にわたって持続可能かつ今の時代にあった水道料金制度を目指し、水道料金制度のあり方を検討するにあたっての論点整理、基本的な考え方の確認等を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：202 千円</p>
取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>	

### (2) 組織体制の充実

重点施策・事業における目標	<p>平成 28 年 4 月の上下水道局の機構改革により、経営部、事業部に再編し、より戦略的な事業運営の推進と危機管理体制の強化を図ります。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>新たな体制でそれぞれの役割を担いつつ、事業運営の推進のため、部間の連携を図ります。さらには、水道・下水道組織の統合により、ジョブローテーションなどによる幅広い技術者の育成を図り、技術の継承に取り組むとともに、業務の効率化やワンストップによるお客さまのサービスの向上を図ります。また、危機管理面では部間の応援協力体制の強化を図ります。</p>

平成 28 年度の実績	機構改革により、水道・下水道事業の申請等の窓口を統合し、お客さまのサービスの向上を図りました。また、これまで水道・下水道事業ごとに、担当部署が個別に対応していた危機管理事象について、局全体で対応するよう、部間の応援協力体制の強化を図りました。なお、部間の連携、技術継承のための技術者の育成及び業務の効率化については、事業運営の中で引き続き取り組んでいきます。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### (3) 水洗化の促進

重点施策・事業における目標	平成 30 年度住居系地域の汚水整備の概成に向けた取り組みとともに、公共下水道の供用開始後 3 年以内に義務付けられているトイレの水洗化の促進を図ります。
平成 28 年度の取り組み	新たに公共下水道の供用を開始した区域の家屋所有者に対して、水洗化工事の手続き、補助・融資制度などをわかりやすく説明した啓発文書により、引き続き水洗化の促進を図ります。 また、水洗化義務期限である 3 年を経過した下水道未接続家屋の所有者に対しては、勧告や戸別訪問など、水洗化促進に向けた取り組みを強化し、水洗化率の向上に向けて積極的な働きかけを行います。 平成 28 年度当初予算：330 千円
平成 28 年度の実績	水洗化の促進に向け、供用開始してから 1 年目、2 年目と 2 年半目に当たる未接続家屋に対して、啓発文書の送付を行いました。 また、水洗化義務期限である 3 年を経過した未接続家屋に対して、積極的な働きかけを行うため、継続的に戸別訪問などを行いました。 平成 28 年度決算：134 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

## 2. 行政改革・業務改善

### (1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
9-1. 下水道事業会計の経営健全化（下水道使用料のあり方検討）	今後予測される下水道使用料収入の減少や下水道施設の長寿命化事業に伴う維持管理費の増加等を踏まえ、下水道使用料のあり方について、他市状況調査を実施する。

実績	下水道使用料のあり方について、中核市の下水道使用料の実態を把握するとともに、平成 30 年度策定予定の「下水道事業経営戦略」に向けて、今後の下水道施設長寿命化等に伴う概算事業費等を踏まえ、収支見通しのシミュレーションを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
9-2. 下水道事業会計の経営健全化（水洗化の促進）	水洗化義務期限である 3 年を経過した下水道未接続家屋の所有者に対する勧告や戸別訪問など、水洗化促進に向けた取り組みを強化し、水洗化率の向上に向けて積極的な働きかけを行う。
実績	公共下水道の平成 26、28 年度供用開始区域へ下水道に接続するよう啓発文書を送付した。 また、平成 24 年度供用開始区域の下水道未接続家屋を把握するための実態調査として、建物所有者の確認や下水道の利用状況を確認後、戸別訪問や文書送付により接続意義の説明等を行い、すみやかに下水道に接続するよう指導し、水洗化の促進を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
30. 水道料金制度のあり方の検討	他市の料金体系や地下水採取への対応状況等の調査を実施するとともに、枚方市上下水道事業経営審議会へ水道料金制度のあり方について諮問する。
実績	水道料金制度のあり方について、8 月に他市視察を行い、他市の料金体系や地下水採取への対応状況の調査を実施した。また、上下水道事業経営審議会へ諮問し、将来にわたって持続可能かつ今の時代にあった水道料金制度を目指し、水道料金制度のあり方を検討するにあたっての論点整理、基本的な考え方の確認等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## （2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
類似業務の統一化	2 つの部署で行っていた給水装置工事と排水設備工事の工事事業者の指定等に関する業務を 1 部署で担当することにより、業務内容を総括して検証し、事務の省略や統一などを行い業務の効率化を図る。

実績	給水装置、排水設備に係る工事事業者の指定等業務について、業務の効率化や業務量の削減等を図るため、給水と排水で異なっていた事務処理方法の統一等を行った。また、平成 29 年度からの実施に向けて、指定・審査手数料の入金確認方法の変更、新規指定の際の説明会の同日実施、申請から指定までの標準処理期間の短縮など、見直しを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
安全衛生委員会の機能強化	事故のない安全な職場環境の維持のために設置している安全衛生委員会について、これまで部単位で設置していたものを、機構改革と執務場所の統合に伴い、上下水道局として 1 つにまとめて設置する。これにより、それぞれの委員会での有効な取り組みを融合し、委員会機能の強化を図る。
実績	これまで各部で開催していた安全衛生委員会を、上下水道局安全衛生委員会として 1 つに統合し、「リスクアセスメント活動」、安全や健康について啓発する「安全の日」の取り組みを融合するなど、委員会機能の強化を図った。また、新たに「上下水道局安全衛生委員会だより」を発行し、安全衛生に関する情報の周知及び共有化を行った。今後も事故のない安全な職場環境の維持のために、積極的な取り組みを進めていく。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

●その他の実績

<p>市外転出による水道料金及び下水道使用料の未収金を抑制するため、市民室及び各支所での転出受付の際に、案内チラシを配付することにより、「水道使用中止届」の未提出の防止に努めた。</p>
---

### 3. 予算編成・執行

- ◆水道事業会計では、収入の根幹となる給水収益の減少傾向が続きますが、予算編成時だけでなく、予算執行段階においても経費節減に取り組み、健全な経営を維持します。また、資本的収支では、建設改良費が増加しますが、自己財源を活用し、企業債発行額を抑制しながら、計画的に企業債残高の縮減を図ります。

実績	<p>節水機器の普及などに加えて、大口需要者の地下水利用の影響もあり、給水収益は減少しました。一方、費用面では職員給与費の増などはあったものの、減価償却費の減などにより、費用全体では減少となりました。その結果、単年度の純利益は前年度より減少し、11 億 6421 万 3000 円を計上しました。</p> <p>また、企業債について、自己財源を活用し、発行額が償還額を超えないように</p>
----	---

	<p>しながら、企業債残高の縮減を図りました。</p> <p>【対前年度決算比】</p> <p>給水収益減少額：約 1 億 434 万円</p> <p>職員給与費増加額：約 1 億 2884 万円</p> <p>減価償却費減少額：約 3 億 3688 万円</p> <p>単年度純利益減少額：約 519 万円</p> <p>企業債発行額：約 10 億 1820 万円</p> <p>企業債償還額：約 15 億 1893 万円</p> <p>企業債残高：約 206 億 2689 万円</p> <p>【対前年度決算比】</p> <p>企業債残高削減額：約 5 億 73 万円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 下水道事業会計では、供用開始区域の拡大に取り組む一方で、水需要の減少により使用料収入の大幅な増収は見込めない中で、予算編成から執行段階においても経費節減に努め、基準外繰入金金の計画的な削減に引き続き取り組みます。

実績	<p>使用料収入は、水洗化の促進や大型商業施設等の下水道の使用開始などから増加となり、修繕費や利息の減など、経費の縮減にも努め、基準外繰入金を削減しました。なお、単年度純利益は前年度より減少し、21 億 596 万 2000 円を計上しました。</p> <p>【対前年度決算比】</p> <p>下水道使用料増加額：約 3482 万円</p> <p>一般会計繰入金削減額：約 4 億 1315 万円</p> <p>単年度純利益減少額：約 5 億 9591 万円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

#### 4. 組織運営・人材育成

- ◆ 平成 28 年 4 月に機構改革を実施し、水道部・下水道部を経営部・事業部に再編、水道・下水道事業を一体的に捉えた実質的な組織統合を図ったことから、水道・下水道事業を安定して持続的に取り組んでいけるよう、効率的な組織運営に努めます。

実績	<p>新たな組織において、給水・排水設備関係の窓口業務のワンストップ化により、お客さまサービスの向上を図りました。また、災害等危機事象に備え、部間の応援協力体制、緊急出動班の整備を行い、危機管理体制の強化を図りました。</p> <p>なお、この機構改革に合わせて、執務場所の統合、代表電話（電話による上下水道局総合受付）の設置を行うことにより、窓口における関係部署の連携した対応、代表電話における的確な対応を図り、お客さまサービスの向上へ取り組むとともに、上下水道局組織全体の効率的な運営にも努めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆上下水道局の事業が、お客さまの信頼の上に成り立っていることを、全職員が再認識し、服務規律の確保を徹底していくため、コンプライアンスの向上に向けた取り組みを継続的に行っていきます。

実績	職員が常に襟を正し、コンプライアンスの推進を図ることが市民の信頼につながることから、上下水道局全職員に対して、コンプライアンスの徹底、個人情報の保護、信用失墜行為の禁止などについて、適宜、通達を行い、服務規律の確保に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆水道、下水道事業ともに、高度な専門技術の習得とその技術の継承が必要なため、研修参加への促進を図るとともに、技術の継承が図れるよう職場内研修の推進を図ります。

実績	上下水道局職員として高度な専門技術の習得や将来への技術継承のため、他団体主催の研修へ広く参加し、職務に関する知識やスキルの向上を図りました。また、年度当初、上下水道局へ異動してきた職員及び新規採用職員を対象に、上下水道局各課の業務を案内する研修を実施するなど、水道・下水道事業の取り組みについて習得する機会を設け、職員の資質の向上に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

## 5. 広報・情報発信

- ◆水道・下水道事業を一体的に捉えた機構改革の実施に合わせ、上下水道局の取り組みに関する広報についても、水循環に関連付けて一体的に行い、広く情報発信します。

実績	水道・下水道事業の取り組みを広く情報発信するため、FM ひらかた、情報誌など各種媒体を通じて広報を行いました。平成 28 年度の上下水道事業の主な取り組みなどを紹介した情報誌を、5,000 部発行し、市役所本庁舎、支所、図書館など、市内公共施設 35 ヲ所で配布しました。また、水道・下水道事業の取り組み、業務窓口等を案内した「水道・下水道ガイド（保存版）」を転入者に配布しました。今後も、一体的に情報発信を行い、広報の充実を図っていきます。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆上下水道局ホームページについて、より検索が容易になるよう、局内横断的な更新に取り組みます。また、お客さまに必要な情報は、掲載方法を工夫し、わかりやすく情報発信します。

実績	枚方市ホームページにある「上下水道局」専用ページ内の検索をスムーズに行えるよう、タイトルメニューの分類を検索者の視点から見直し、わかりやすく整理しました。また、素早く対象を絞り込み、容易に検索ができるよう、検索対象となる「個人のお客さま」、「事業者さま」等の別に専用バナーを設置しました。今後もわかりやすい情報発信に努め、随時更新を行っていきます。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

